

令和 4 年度

あ ゆ み

～ 献血から輸血まで ～



(献血ポスターコンクール 金賞)
白山市立北辰中学校 2 年 齊藤 希来



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター



令和4年度 あゆみ ～献血から輸血まで～ 発刊にあたって

血液事業の推進につきまして、皆様方には平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度に本県においては、コロナ禍の影響が残るなか、前年度(44,561人)とほぼ同数の延べ44,620人の皆様から献血にご協力いただきました。その結果、患者さんが必要とする輸血用血液製剤を不足なく医療機関にお届けすることができました。この献血者数は、石川県の16歳～69歳(献血可能年齢)688,738人(令和4年10月1日現在：石川県 統計情報室作成「石川県の年齢別推計人口」より)の6.5%に当たります。石川県は県民の皆様の献血に対する意識が特に高く、バスによる移動採血1稼働当たりの採血数は全国でも常にトップ10に入っています。その結果、頂いた血液の一部は、石川県内だけでなく、血液が不足している東海・北陸地区の他県にも供給させて頂いています。石川県民の皆様方の日頃のご協力に心よりお礼申し上げます。

血液事業において現在もっとも懸念されているのは若年層における献血者の減少です。過去10年の間、献血して頂く方の全国的な総数は約500万人で変わっていませんが、年代別にみると、献血者数の割合が増えているのは50代の方だけで、それ以外の10代～40代の方が占める割合は年々低下しています。特に、20代と30代の方の減少が顕著です。これに対して医療の現場では、輸血を必要とするがんや難病の患者さんが社会の高齢化に伴って年々増えています。一方、献血可能年齢上限の69歳(60歳から64歳までの間に献血されていない方では65歳)に達した方達は毎年献血を卒業されます。その結果、このままでは血液製剤の需給のバランスが崩れ、10年先には必要な血液を病院に届けられなくなるのではないかと心配されています。このため、若い世代の献血者数と献血率の増加を目指すことが喫緊の課題となっています。

このため当血液センターでは、県及び市町、学生ボランティア、ライオンズクラブ等の献血推進団体の皆様と緊密に連携し、献血の受入体制の整備、献血についての広報活動、若年者の献血推進事業、献血web会員サービス「ラブラッド」会員の登録を推進してまいりました。その結果、令和4年度の石川県における10代と20代の献血者数は令和3年度に比べて、それぞれ107.2%、101.4%増加しました。令和5年6月現在、コロナウイルス禍に伴う生活の制限はほぼ撤廃されていますので、今後若い世代の方の献血がさらに増えるよう、努力してまいりたいと思っています。

この一環として、献血に来て頂く皆様にはできるだけ献血を予約して下さるようお願いしています。ラブラッドの会員になって頂きますと、献血の予約をウェブで行えるようになるほか、血液検査結果を献血後2～5日で確認できる、予約や献血協力で貯めたポイントを記念品と交換できる、などのメリットがあります。令和4年9月にはラブラッドのアプリが誕生し、16歳未満の方でもプレ会員として登録できるようになりました。また、献血会場を訪れる前に問診に回答できるため、献血会場での滞在時間も短くなっています。未登録の皆様には是非ご活用頂けますと幸いです。

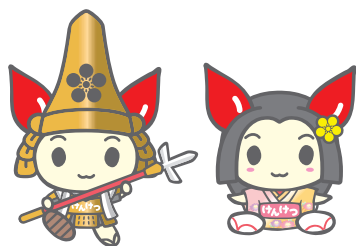
この冊子は、令和4年度における当センターの取組や血液事業の概要などをまとめたものです。この冊子をみて頂くことによって、献血に対する皆様のご関心がより高まり、献血の輪がさらに大きく広がることを願っております。

当センターは昭和40年に誕生して以来、令和5年1月で満58年となりました。この間、県民の皆様の温かなご支援のおかげで歩みを進めることができました。心より感謝申し上げます。今後のポストコロナ時代の中でも、県民の皆様安心して献血していただけますよう、献血環境の充実・改善、採血技術の向上など職員一同なお一層努力してまいりますので、今後とも引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

石川県赤十字血液センター
所 長 中 尾 眞 二

いしかわの献血



石川県立図書館

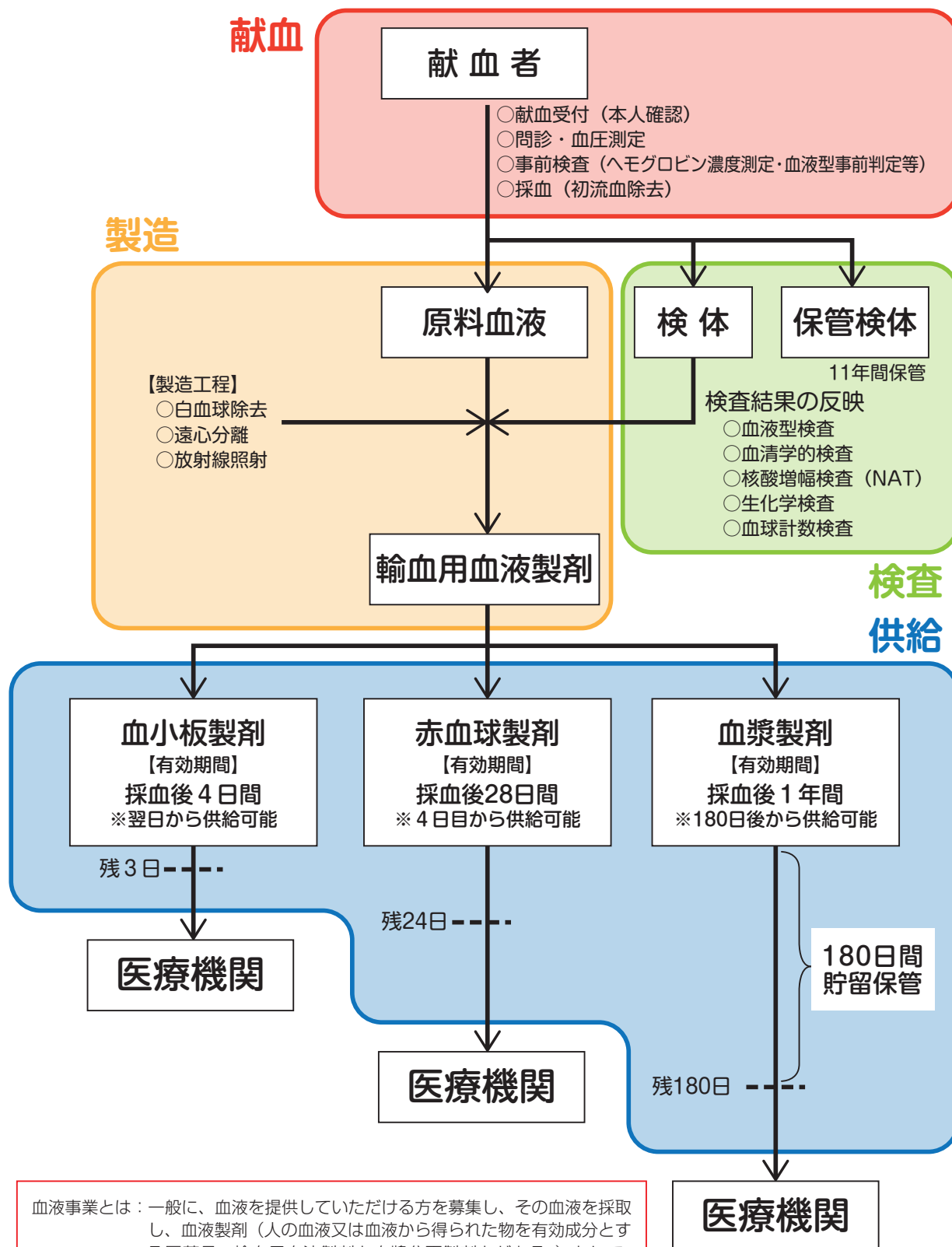
CONTENTS

献血受入れから供給まで	01
TOPICS	02
・ 健診車をリニューアルしました	
・ 赤血球製剤の有効期限の延長	
・ 献血運搬車両の更新	
献血を支える活動	04
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・ 安定的な血液の確保	06
・ 緊急時の成分献血への協力要請	06
・ 骨髄バンクドナー・栄養相談	06
・ 若年層による献血推進活動	07
献血場所の紹介	
・ 献血バス	08
・ 献血ルーム ル・キューブ	08
・ 献血ルーム くらつき	08
医薬情報活動	
・ 医療機関対応	09
・ 石川県合同輸血療法委員会	09
・ 赤十字血液シンポジウム	09
令和4年度 献血者数・血液製剤の供給状況	10
・ 血液製剤の供給状況	11
令和4年度 献血ポスターコンクール優秀作品	12
献血功労者・功労団体の表彰	14
石川県赤十字血液センターの沿革	15

献血受入れから供給まで



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



血液事業とは：一般に、血液を提供していただける方を募集し、その血液を採取し、血液製剤（人の血液又は血液から得られた物を有効成分とする医薬品。輸血用血液製剤と血漿分画製剤とがある。）として、治療を必要とする患者さんのため、医療機関に供給する一連の事業のことをいいます。

健診車をリニューアルしました

令和4年3月から移動採血時に事前検査や問診を行う健診車を1台更新しました。新しい健診車の外観は献血推進キャラクター「けんけつちゃん」があしらわれたデザインを備え、車内は蛍光灯がLEDとなったことで、明るく快適に献血へご協力頂けます。

これまで使用していた旧健診車は平成18年6月に配備されてから約15年間、県内各地の献血会場で活躍し、総走行距離13万kmを超えました。

新しく快適になった健診車とともに献血会場で皆さまのご協力をお待ちしています。



旧健診車

赤血球製剤の有効期限の延長

これまで日本赤十字社では、赤血球製剤の有効期限について「採血後21日間」としておりましたが、2023年3月13日以降の採血分より「採血後28日間」に変更いたしました。赤血球製剤の有効期限の延長は、献血という貴重な社会的資源の有効利用につながり、血液事業や輸血医療の効率化に寄与するものと考えております。

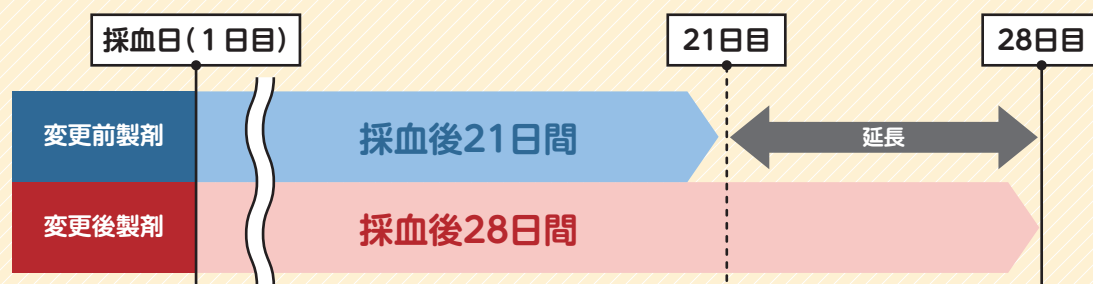
有効期間変更後の製剤は、同年3月15日から順次供給を開始しております。本件に関するお問い合わせは、石川センター学術情報・供給課にご連絡ください。

石川センター学術情報・供給課 TEL 076-254-6947

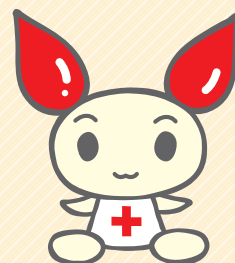
■対象製剤

一般名	販売名	略号
人赤血球液	赤血球液-LR「日赤」	RBC-LR
	照射赤血球液-LR「日赤」	Ir-RBC-LR

■有効期間 「採血後21日間」から「採血後28日間」に変更。



新健診車



献血運搬車両の更新

令和4年度の石川県赤十字血液センターでは、最新の献血運搬車両としてセレナが配備されました。セレナは、運転支援機能を多数採用しており、安全性能の高い車両となっています。

今後も患者様のもとへ安心して輸血用血液製剤をお届けできるよう、日々安全運転に努めてまいります。



いって
らっしゃい

TOPICS

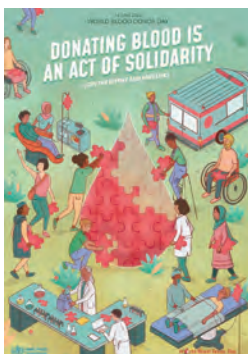
献血を支える活動



世界献血者デー

令和4年6月14日(火)

血液という「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、輸血が必要な患者さんのために献血が不可欠であることを知ってもらう日であり、世界各国で工夫を凝らした様々なイベント等が行われています。



愛の血液助け合い運動

令和4年7月1日(金)～7月31日(日)

「七夕献血キャンペーン2022」

令和4年7月3日(日)

会場：アル・プラザ金沢、
イオンモール白山、
献血ルーム ル・キューブ

主催：石川県学生献血推進委員会



4月↑

「はたちの献血」キャンペーン

令和5年1月1日(日)～2月28日(火)

献血者が減少しがちな冬期において、輸血用血液を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者をはじめとする幅広い年齢層の皆様に献血に関する理解と協力をお願いする運動です。



石川センターの

献血ルーム 独自のキャンペーン

●「お誕生日おめでとう」キャンペーン

献血ルームで献血いただいた方のお誕生月に「バースデーカード」をお送りし、献血にご協力いただいた方に記念品をお渡します。

●団体献血

部活やサークル、クラス等の仲間5人以上で献血いただいた方に清涼飲料水1ケース(6本入り)をお渡します(学生限定)。

●つづけて献血

若年層(10代・20代)の初回献血者に「つづけて献血記念品引換券」を配布し、次回献血時に記念品をお渡します。

●親子献血

若年層(10代・20代)の子を持つ献血者や10代・20代の献血者に両親と来ていただくよう「親子献血記念品引換券」を配布し、次回、親子で献血いただいた方に記念品をお渡します。

●バレンタインデー献血キャンペーン

2月の献血者減少対策として、2月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にチョコレートのプレゼント。

●ホワイトデー献血キャンペーン

3月の献血者減少対策として、3月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にクッキーのプレゼント。

年末年始愛の血液助け合い運動

令和4年12月20日(火)～令和5年1月19日(木)

献血者の確保と年末年始の献血受入体制の強化を目指すとともに、広く県民に献血思想の普及を図る運動です。

「全国学生クリスマス献血キャンペーン2022」

令和4年12月4日(日)・11日(日)

会場：イオンもりの里店、イオンモール白山、
献血ルーム ル・キューブ

主催：石川県学生献血推進委員会





なぜ？なに？おしえて！献血！ ～親子で学ぶ献血教室～

県内の小学生に献血について知ってもらうため、保護者と一緒に血液のはたらきについて学び、献血を



疑似体験していただくプログラムです。「血液はかせ(医師・薬剤師)」からのレクチャーや、献血バスでの模擬献血、献血運搬車や供給部門の見学などを行っています。

若年層向け献血セミナー

将来の輸血医療を支える若年層に献血の基礎知識や必要性を伝え、これからの献血協力や献血推進ボランティア活動のきっかけにしておこうと、県内の各学校に血液センター職員や学生献血推進ボランティアが伺い、献血セミナーを実施しています。

令和4年度は12校で計12回実施し、623名の方が聴講してくださいました。



献血広報活動



複数回献血協力者確保事業

「献血Web会員サービス『ラブラッド』」では、会員登録の推進と継続的なご協力、また将来の輸血医療を支える若年層(10代～30代)献血者に積極的な参加をお願いするために、映画試写会イベントを実施しています。上映前には、血液センター職員から、献血を取り巻く課題、特に若い世代の献血協力が減少している現状についてお話しし、来場された皆さんに継続的な献血協力をお願いしています。



※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

東海北陸ブロック サマー献血キャンペーン

令和4年8月7日(日)・21日(日)

会場:アピタ松任店、イオンモール白山、
献血ルーム ル・キューブ
主催:石川県学生献血推進委員会

夏場の献血者が減少しがちな時期に、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが各県で献血を呼びかけるキャンペーンです。7県の学生が力を合わせて、様々な統一企画を実施し、街頭で献血を呼びかけ、多くの皆さんにご協力いただいています。



石川県赤十字血液センターの主な取り組み

安定的な血液の確保

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。そのために、日本赤十字社では、献血してくださる皆さまの利便性向上を目指し、「献血Web会員サービス『ラブラッド』」を運営し、会員登録をお願いしています。

会員登録すると専用サイトから献血の事前予約ができるほか、これまで受付でしかできなかった問診に回答でき、献血後の検査結果をWebで閲覧することも可能になりました。また、会員限定のイベントへのご招待やポイントで限定の記念品と交換できたりするなど各種特典があります。

令和4年9月には、新たに『ラブラッド』のスマホアプリが誕生しました。従来の会員特典に加え、スマートフォンのみで献血受付ができるなど、さらに便利になりました。

その他にも、様々な患者さんの輸血治療に柔軟に対応するため、特にRh(－)の方で血液センターからの直接要請にご承諾いただける方に、石川県赤十字血液センター「さちしお会」にご登録をお願いしています。



ラブラッド

Love Blood

献血Web会員サービス『ラブラッド』会員数（令和5年3月末現在）

20,551名

緊急時の成分献血への協力要請

輸血が必要な患者さんに血液をお届けするため、医療機関からの要請にフレキシブルに対応していますが、不足が生じる恐れがある場合などには、あらかじめご登録いただいた皆さま（ラブラッド会員、さちしお会会員等）に電話等でご協力をお願いするほか、献血協力企業・団体の皆様にも急遽ご協力をお願いすることがあります。

皆さまの献血へのご理解とご協力により、日々の輸血医療が支えられています。

骨髄バンクドナー・栄養相談



原則毎月第2土曜日 14時～16時

栄養相談

石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

骨髄バンクドナー登録

● 毎週日曜日 13時50分～17時

ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが、骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。





若年層による献血推進活動

石川県学生献血推進委員会

●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に、所属校の別を超えて献血推進に取り組もうと、金沢経済大学（現 金沢星稜大学）の学生が他大学の学生にも協力を呼びかけ、県内14の大学・短期大学等の賛同を得て発足した組織です。

年2回の総会や、委員会が主催する各種献血キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）など、同世代の若者を中心に広く県民の皆さまに献血の必要性をPRし、協力を呼びかけています。



IUBPC

石川県学生献血推進委員会



総会



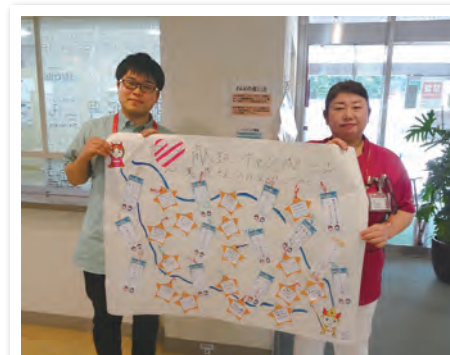
学生献血キャンペーン

●石川県学生献血推進委員会 主な活動（令和4年度）

- 5月 第1回石川県学生献血推進委員会総会
- 6月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第1回総会（Web）
- 7月 七夕献血キャンペーン2022
- 8月 東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン2022
全国学生献血推進代表者会議（Web）
- 9月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第2回総会（Web）
- 12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン2022
- 2月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第3回総会（Web）
- 3月 石川県学生献血推進委員会第2回総会



親子献血教室 運営ボランティア



献血者からのメッセージを医療機関に贈呈

石川県学生献血推進連絡会

石川県学生献血推進委員会および委員会に参加する学生献血推進ボランティアの活動をサポートし、若者へのさらなる献血推進を行うために、ご賛同いただいた大学・短期大学等の教職員の方々と、石川県学生献血推進アドバイザー、石川県赤十字血液センターによって構成しています。

献血場所の紹介



献血バス



石川県全域の市役所・町役場、企業・団体、学校、ショッピングセンターなどに伺って、皆さまに献血をお願いしています。当センターの献血バスは3台あり、毎月約30会場に赴いて献血を実施しています。

献血バスでは400mL献血等の全血献血を受付しています。皆様の地域で献血バスを見かけたら、ぜひご協力ください。



● 令和4年度 献血バスの献血者数

全血献血		献血バス 計
400mL献血	200mL献血	
18,682人	726人	19,408人

献血ルーム ル・キューブ

「献血ルーム ル・キューブ」は、開設9周年を迎えました。

土日祝日も開いており金沢の中心地でもあることから、観光客の方や学生さんたちなど幅広く来られます。近年のコロナ禍で環境が変化いたしました。皆様のご協力のおかげで安心・安全な献血ルームを維持できております。これからも、スタッフ一同皆様に快適で安心して献血いただけるように努めていきます。



採血室



待合室



● 令和4年度 献血ルーム ル・キューブの献血者数

全血献血		成分献血		ル・キューブ 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
3,922人	479人	2,973人	5,365人	12,739人



入口

献血ルーム くらつき

昭和55年(1980年)年9月、金沢市広坂から金沢市南新保地内(現くらつき)に新築移転し、石川県赤十字血液センターの母体として採血業務を開始、平成28年(2016年)10月には、「献血ルーム くらつき」に名称を変更して、献血の受け入れをしています。当献血ルームは、石川県庁に近い交通の利便性の良い場所にあり、十分な駐車場を確保しています。

また、各企業・団体様より、献血協力依頼があれば送迎いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

● 令和4年度 献血ルーム くらつきの献血者数

全血献血		成分献血		くらつき 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
4,112人	204人	3,417人	4,740人	12,473人



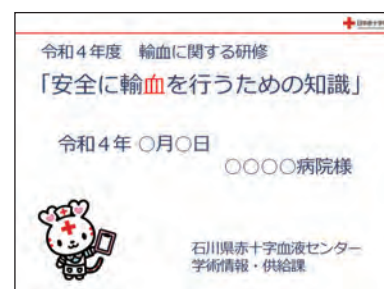
なお、感染症対策として、全ての献血会場では、安心して献血ができるよう、引き続きマスク着用を推奨し、混雑回避のため事前予約の推進、手指消毒、テーブル・椅子等の消毒、換気などを行っています。

医薬情報活動



医療機関対応

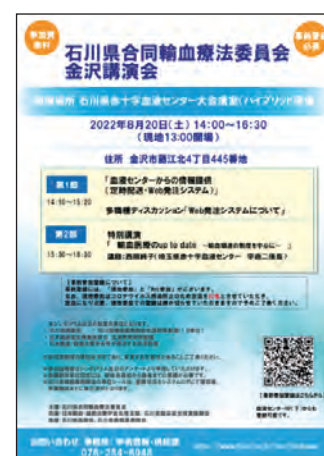
血液センターでは、石川県内の医療機関に対して、医薬情報担当者が安全な輸血のための情報提供及び情報収集を行っております。また、それらの一環として、輸血用血液製剤の適正使用・正しい取り扱い方法などの説明会を医療機関の要望に応じて開催しています。



石川県合同輸血療法委員会

石川県では平成23年度に合同輸血療法委員会が発足し、輸血医療の適正化を目指して医療機関、石川県及び血液センターの3者が「チーム石川」として実効性の高い活動を行ってきました。血液センターは事務局として委員会の運営に協力しています。各種実行委員会では、石川県内の輸血を実施している医療機関へのアンケート調査解析をはじめ、遠隔地での講演会の開催や、医療機関を訪問し輸血関連の相談・情報共有を実施しています。

令和4年度は、コロナ禍で現地での講演会の開催が出来ませんでしたが、オンラインで2回開催することができ、多くの石川県内の医療関係者の皆様にご参加いただきました。



金沢講演会案内

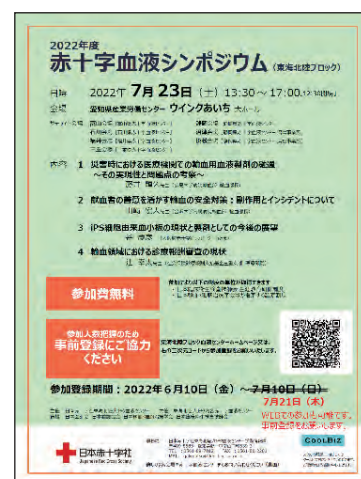
赤十字血液シンポジウム

輸血医療にかかわる医療関係者を対象に、毎年愛知県で行われているシンポジウムについて、平成28年度から東海北陸ブロック管内の血液センターでインターネットを利用したサテライト中継を始めました。石川県赤十字血液センターでも、愛知県まで足を運べない県内の医療関係者の皆様のためにサテライト会場を設置しています。

令和4年度はサテライトとWebでの開催となり、医療関係者の皆様により聴講しやすい形式で開催しました。石川県内からもサテライトとWebで多くの医療関係者の皆様にご参加いただきました。



サテライト会場の様子



赤十字シンポジウム案内

令和4年度 献血者数・血液製剤の供給状況



令和4年度 献血者数：44,620人



石川県

● 種類別献血率の推移

種類別	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
200mL 献血	1,784人	4.2%	1,751人	3.9%	1,328人	2.9%	1,344人	3.0%	1,409人	3.1%
400mL 献血	25,610人	60.2%	27,408人	60.7%	26,734人	59.2%	26,691人	59.9%	26,716人	59.9%
成分 献 血	15,146人	35.6%	15,993人	35.4%	17,124人	37.9%	16,526人	37.1%	16,495人	37.0%
合 計	42,540人	100%	45,152人	100%	45,186人	100%	44,561人	100%	44,620人	100%

● 年代別献血率の推移

年齢別	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
20歳未満	2,520人	5.9%	2,760人	6.1%	2,061人	4.6%	1,937人	4.3%	2,077人	4.6%
20～29歳	6,103人	14.3%	6,355人	14.0%	5,987人	13.2%	6,054人	13.6%	6,138人	13.8%
30～39歳	7,218人	17.0%	7,265人	16.1%	7,043人	15.6%	6,806人	15.3%	6,281人	14.1%
40～49歳	12,530人	29.5%	13,172人	29.2%	13,170人	29.1%	12,018人	27.0%	11,288人	25.3%
50～59歳	10,250人	24.1%	11,238人	24.9%	12,328人	27.3%	12,801人	28.7%	13,474人	30.2%
60歳以上	3,919人	9.2%	4,362人	9.7%	4,597人	10.2%	4,945人	11.1%	5,362人	12.0%
合 計	42,540人	100%	45,152人	100%	45,186人	100%	44,561人	100%	44,620人	100%

● 男女別献血率

性別	令和4年度	
	人 数	比率(%)
男	32,378人	72.6%
女	12,242人	27.4%
計	44,620人	100%

● 施設別献血率

施設	令和4年度	
	人 数	比率(%)
献血ルームくらつき	12,473人	28.0%
献血ルームルキューブ	12,739人	28.5%
移動献血車	19,408人	43.5%
合 計	44,620人	100%

● 職業別献血率

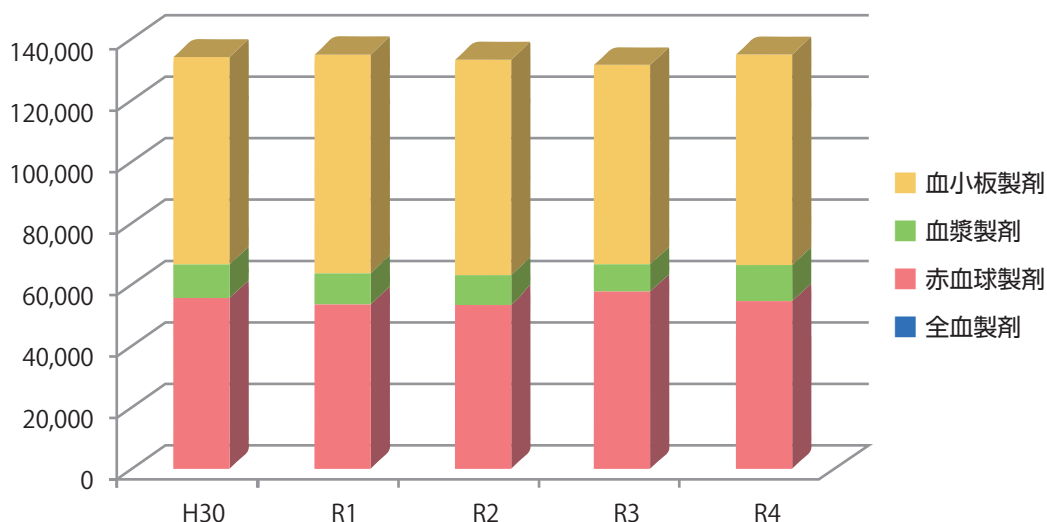
職業別	令和4年度	
	人 数	比率(%)
公 務 員	6,917人	15.5%
会 社 員	25,829人	57.9%
学 生	3,984人	8.9%
そ の 他	7,890人	17.7%
合 計	44,620人	100%

● 献血できなかった割合

不適格内容	令和4年度	
	人 数	比率(%)
血色素不足	1,717人	39.9%
血圧異常	331人	7.7%
服 薬	582人	13.5%
問診該当①	142人	3.3%
問診該当②	451人	10.5%
事前検査	158人	3.7%
そ の 他	923人	21.4%
合 計	4,304人	100%

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

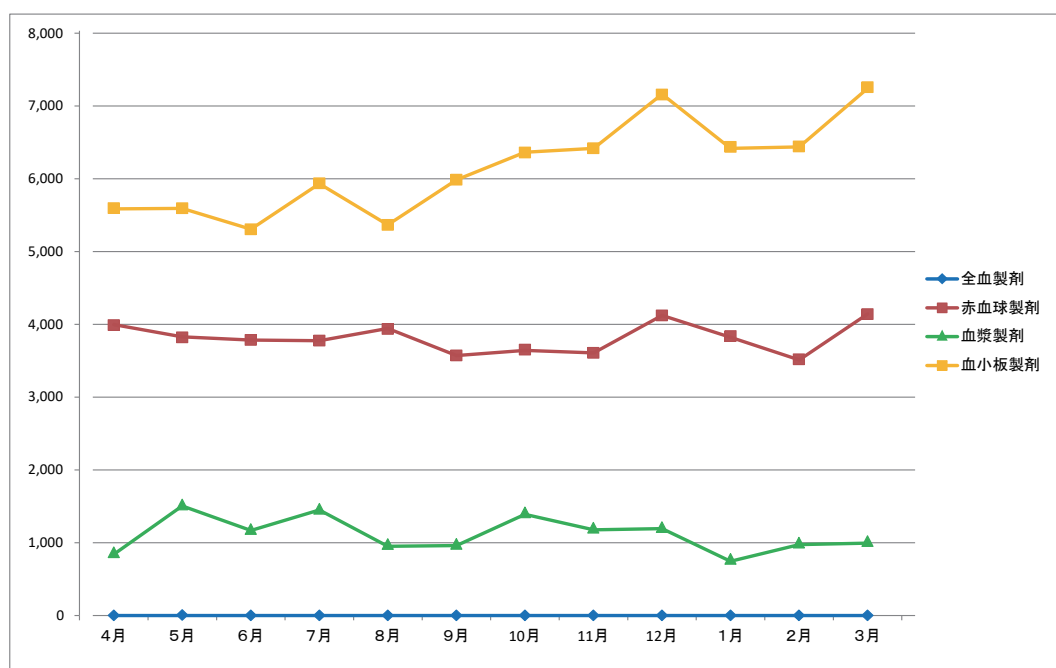


(単位)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全血製剤	0	0	0	0	0
赤血球製剤	43,619	42,873	42,879	44,670	45,859
血漿製剤	16,257	14,445	12,071	15,486	13,617
血小板製剤	72,935	75,606	76,135	67,470	73,360
計	132,811	132,924	131,085	127,626	132,836

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(令和4年度月別)



(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	4,020	3,846	3,749	3,712	3,919	3,601	3,710	3,693	4,100	3,814	3,588	4,107	45,859
血漿製剤	934	1,540	1,129	1,418	1,057	1,022	1,330	1,101	1,106	907	1,058	1,015	13,617
血小板製剤	5,625	5,650	5,270	5,950	5,320	5,935	6,200	6,350	7,190	6,330	6,320	7,220	73,360
計	10,579	11,036	10,148	11,080	10,296	10,558	11,240	11,144	12,396	11,051	10,966	12,342	132,836

令和4年度 献血ポスターコンクール優秀作品

令和4年度は石川県内17校、167名の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞6名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて令和5年1月5日から10日まで展示しました。



白山市立北辰中学校2年
齊藤 希来



白山市立松任中学校2年
八田 未羽



白山市立松任中学校2年
本多 夏実



野々市市立野々市中学校1年
高島 梨愛蘭



金沢市立小将町中学校 3 年
三傳 菜緒



津幡町立津幡中学校 2 年
松嶋 宏香



金沢大学附属中学校 1 年
深江 文



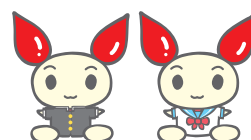
金沢市立浅野川中学校 2 年
鈴木 凜



珠洲市立緑丘中学校 3 年
坂東 杏咲



珠洲市立緑丘中学校 1 年
谷内口 心春



献血功労者・功労団体の表彰



日時：令和4年7月19日(火) 場所：石川県庁4階特別会議室

厚生労働大臣表彰状(1団体)

高松機械工業株式会社

厚生労働大臣感謝状(6団体)

イオンもりの里店

株式会社 北村機器製作所

澁谷工業株式会社 津幡工場

全日本ロータス同友会石川県支部

大徳公民館 青壮年部

北陸労働金庫

石川県知事感謝状

(1) 献血成績優良団体(3団体)

一般社団法人 小松能美建設業協会

一般社団法人 白山野々市建設業協会

清水建設株式会社 北陸支店

(2) 献血推進功労者(1団体)

白山市千代野体育協会

(3) 献血成績優良者(83名)

(代表) 中出 仁

(4) 献血目標達成市町(14市町)

金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、白山市、

能美市、川北町、津幡町、志賀町、宝達志水町、

中能登町、穴水町、能登町

(代表) 津幡町

日本赤十字社有功章(1個人・3団体)

金沢星稜大学 人間科学部 教授 池田 幸應

加賀農業協同組合

金沢市立工業高等学校

金沢伏見ライオンズクラブ

日本赤十字社石川県支部長感謝状(10団体)

学校法人阿弥陀寺教育学園

国際医療福祉専門学校 七尾校

株式会社イーピーエム・コーポレーション

のみ商業協同組合

アパホテル株式会社

イオンタウン株式会社 イオンタウン金沢示野

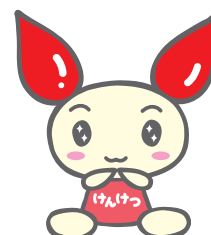
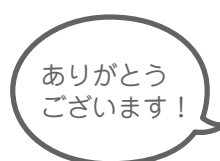
イオンモール株式会社 イオンモール新小松

公益社団法人 石川県栄養士会

学校法人豊穰学園 金沢医療技術専門学校

株式会社白山機工

シブヤパッケージングシステム株式会社



石川県赤十字血液センターの沿革



- 昭和40年 1 月 移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始
(財)北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託
第1回集団献血(美川町青年団36名)
- 40年 3 月 第1回石川県献血推進協議会を開催
- 41年 7 月 輪島市において献血者1万人目達成
- 9 月 第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館)
Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
- 42年 9 月 赤十字血液センターに採血所を設置
都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
- 43年 3 月 小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
- 6 月 ABO式血液型無料判定を実施
- 8 月 穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
- 9 月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
- 45年 1 月 七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
- 9 月 美川町において献血者10万人目達成
- 46年 4 月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
- 7 月 第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
- 51年 5 月 血液成分製剤の製造を開始
- 55年 3 月 金沢市において献血者50万人目達成
- 9 月 赤十字血液センターを金沢市南新保町地内
(現県庁前出張所所在地)に新築移転
- 57年 4 月 血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始
献血手帳の供給記録欄の廃止
- 58年10月 穴水出張所(採血所)廃止
- 11月 献血者登録制度発足
- 61年 3 月 赤十字血液センター増改築完成
- 4 月 400mL献血、成分献血を開始
- 6 月 コンピューターシステムの導入
- 11月 片町出張所「献血ルームラブロ」を設置
(開設時全血献血4ベッド
⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド)
HIV-1抗体検査、HTLV-1抗体検査を開始
- 12月 金沢市において献血者100万人目達成
バーコードラベルによるエイズチェック開始
- 平成元年 4 月 小松出張所(採血所)廃止



赤十字血液センター 新築移転



献血ルームラブロ

7月	出張での成分献血開始(事業所に成分採血装置を持込み)
11月	HCV抗体検査、HBc抗体検査を開始
2年1月	七尾出張所(採血所)廃止
2年10月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
3年1月	赤十字血液センター採血所の機能強化(土曜日献血の実施)
9月	小松市において献血者150万人目達成
11月	成分献血に対応した大型移動献血車を購入
4年3月	献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
6年1月	第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
9月	第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
7年4月	赤血球MAPの有効期限短縮(42日間から21日間へ短縮)
8年3月	赤十字血液センターの増改築工事完成(新館建設)
9年11月	献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
10年5月	第1回石川県輸血懇話会の開催
6月	放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
11月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
11年10月	全国的にNAT(核酸増幅検査)を導入【500検体プール】 (検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
12年2月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
13年5月	赤十字血液センター・イントラネット導入
14年3月	赤十字血液センター・ホームページ開設
15年1月	赤十字血液センター採血所の業務拡大(日・祝日を除く毎日開設)
3月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化(心電図室新設)
7月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
16年5月	第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
8月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
10月	日赤本社に血液事業本部を設置 検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
17年2月	宝くじ協会より移動献血車さちしお5号(大型)寄贈 金沢市において献血者250万人目達成
6月	英国滞在歴に関する献血制限の実施
12月	片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更(水曜日⇒土曜日)
平成18年3月	タッチパネルシステムを固定施設に導入 複数回献血クラブを設置
4月	富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約

10月	福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約 献血手帳から献血カードへ切替 献血者健康被害救済制度を開始
19年 1月	全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
20年 5月	化学発光酵素免疫法（CLEIA法）検査機器の導入完了 赤十字血液センター・ホームページ更新
21年 3月	製剤施設移転拡張（本館2階⇒新館3階）の工事完成 糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）のサービス通知開始
21年 4月	富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
7月	供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
22年 1月	宝くじ協会より移動献血車さちしお2号（中型）寄贈 1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
3月	血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入 （赤十字血液センター採血所・片町出張所）
23年 4月	石川県合同輸血療法委員会設立（県・血液センター・医療機関） 400mL全血献血が18歳から17歳（男性のみ）に引下げ 血小板成分献血が54歳から69歳（男性のみ）に引上げ
9月	赤十字血液センターの移転用地を取得（金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡）
24年 4月	血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制（広域的な経営体制及び需給管理体制）に移行 （北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属） 石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離 ・赤十字血液センターの業務 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営 ・東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
5月	多目的検診車1台を導入
8月	B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更（HBV感染既往血液への更なる安全対策）
10月	シャーガス病の安全対策の実施 片町出張所「献血ルームラプロ」献血者50万人目達成
平成25年 1月	「献血の同意説明書」の導入
10月	日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に 国から指定を受ける
26年 2月	赤十字血液センター・ホームページ更新（スマートフォン・タブレットに対応） 赤十字血液センター・イントラネット変更（本部整備ネットワークに加入）

3月	献血ルーム移転（片町出張所「献血ルーム ラブロ」から武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始）	
	石川製造所の検査部門と献血者登録部門の一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約	
4月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行	
6月	血液事業情報システムを導入（電子カルテ化）	
8月	個別NAT（核酸増幅検査）を導入【20検体→1検体】 （検査施設8ヶ所：北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック血液センターおよび関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所）	ル・キューブオープン
9月	石川県における献血者300万人達成	
27年1月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成	
11月	石川県赤十字血液センター地鎮祭（移転建設工事開始） 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成 血小板成分献血のPC分割開始	
28年4月	ALT製品除外基準の変更 【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】	
10月	赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置 （全血献血2ベッド、成分献血8ベッド）	
29年3月	成分採血の血漿採取量の上限が600mL以下に変更	
10月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者1万人達成	藤江移転
30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用を開始	
令和元年7月	第55回献血運動推進全国大会が石川県で開催（石川県立音楽堂）	
令和2年2月	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、献血受入時対応を一部変更	
8月	E型肝炎検査（HEV NAT）導入	
9月	血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められる 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更	
11月	献血者顕彰規程の改正により、記念品の選択制を導入 問診におけるがんの問診判断基準緩和	
令和3年2月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」第一次改修工事 （受付、問診室、事前検査室、待合ロビー、トイレ）	
3月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者5万人達成	
令和4年2月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」第二次改修工事 （採血室、心電図室、救護室） 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者10万人達成	
令和5年3月	赤血球製剤の有効期間延長（採血後21日間から採血後28日間へ延長）	

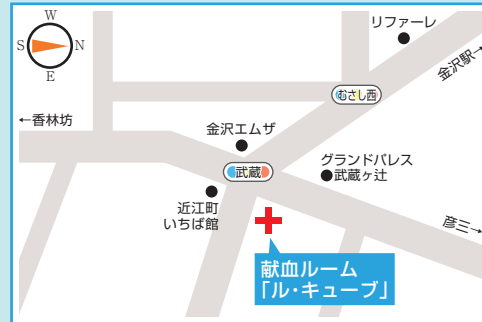


献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909

金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階

TEL(076)220-1655 FAX(076)220-1654



定休日 月曜日（祝日の場合は開設）

受付時間

● 400mL・200mL献血
10:00～12:30／13:50～18:00

● 成分献血
10:00～12:00／13:50～17:00

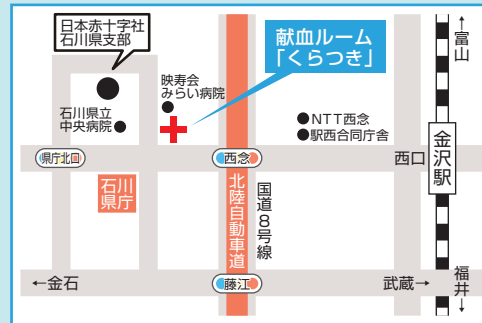


献血ルーム くらつき

〒920-8201

金沢市鞍月東1丁目1番地(石川県庁前)

TEL(076)237-3745 FAX(076)237-5565



定休日 日曜日・祝日

受付時間 月曜日から金曜日

● 400mL・200mL献血
9:00～11:40／13:00～16:45

● 成分献血
9:00～11:00／13:00～16:00

土曜日
● 400mL・200mL献血
8:30～11:40／13:00～16:15

● 成分献血
8:30～11:00／13:00～15:30

編集・発行 石川県赤十字血液センター

〒920-0345 金沢市藤江北4丁目445番地
TEL 076-254-6300 (代表) FAX 076-254-6427
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/ishikawa/>

